

大滝ダム貯水池内における 赤茶褐色の湖面の分析結果

○平成28年10月13日、大滝ダム上流下井戸橋付近の貯水池内で確認された赤茶褐色の湖面の変色について、分析の結果、渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう ペリジニウム*1であることが特定されました。

(別紙1に採水箇所、プランクトン同定試験結果を示します)

○渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう ペリジニウムは植物プランクトンの一種であり、各地の湖沼や池に広く分布し、冷水期に出現して赤潮を形成することもあります。おおよそ、表層水温が15℃前後の時期より出現しはじめ、24℃以上になると消滅します。毒性やカビ臭の報告はなく、人体に影響はありません。

なお、本日(10月14日10:00現在)ほぼ同じ位置で見られるため、引き続き監視していきます。

*1：原因種は渦鞭毛藻綱 うずべんもうそうこう *Peridinium bipes*でした。

*Peridinium bipes*は多くのダム湖や天然湖で多量に発生することが知られており、わが国における淡水赤潮の大半は本種による。本種による赤潮は、富栄養化とは関係のない水域で多く起こっており、原因を水中のカルシウム塩濃度に求める考えもあるが、まだ定説となるには至っていない。

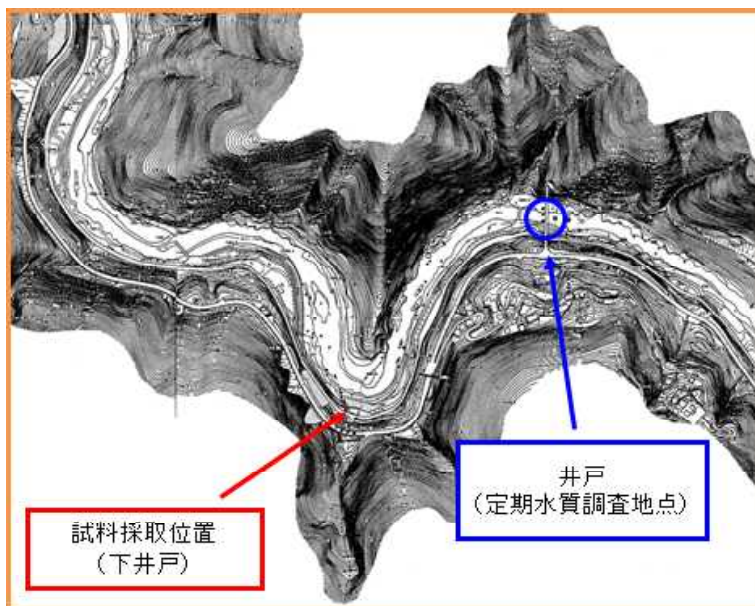


Peridinium bipes (未固定試料)

※ 1目盛=10μm

別紙 1

○採水箇所



下井戸橋付近

○プランクトン同定試験結果

堰名	大滝ダム		調査年(西暦)	2016年
堰コード				
1 調査コード				
2 調査地点	下井戸			
3 採水位置	左岸			
4 全水深	m			
5 調査月	10			
6 調査日	13			
7 調査開始時刻:時24時間制	15			
8 調査開始時刻:分	15			
9 天候	曇			
10 気温	℃	17.6		
18 採水水深	m	0.1		
20 透視度 (河川)	cm	30		
21 外観	赤褐色透			
22 臭気 (冷時)	無臭			
綱名	科名	種名 (学名)		
クリプト藻	Cryptomonadaceae	<i>Cryptomonas</i> sp.	+	
渦鞭毛藻	Peridiniaceae	<i>Peridinium bipes</i>	++	
		<i>Peridinium</i> sp.	+	
緑藻	Chlamydomonadaceae	<i>Chlamydomonas</i> sp.	+	
	Volvocaceae	<i>Eudorina elegans</i>	+	
		<i>Pandorina morum</i>	++	

凡例 : + 少ない、 ++ 多い、 +++ 非常に多い